

# 令和5年度 事業計画書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

令和5年度 事業計画

令和5年度 収支予算

一般財団法人油脂工業会館

(令和5年3月28日 理事会提出)

## 令和5年度 事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

当一般財団法人は、油脂工業に関する調査研究の助成、技術・経営の向上に寄与する優秀論文の表彰等を行うことにより、油脂工業の健全な発展を図り、我が国の国民生活の向上に貢献することを目的に活動を行う。

公益法人制度改革への対応については、公益目的支出計画に基づき公益事業を継続して実施するとともに、内閣府への適正な報告を実施するものとする。

### I. 会議計画

#### 1. 定時理事会・評議員会

- (1) 令和5年5月22日 : 定時理事会
  - 令和4年度事業報告及び決算報告書の承認の件
- (2) 令和5年6月 : 定時評議員会
  - 令和4年度事業報告及び決算報告書の承認の件
- (3) 令和6年3月 : 定時理事会
  - 令和6年度事業計画書(案)及び令和6年度予算(案)の審議・承認

#### 2. 審査委員会

- (1) 令和5年11月に油脂産業優秀論文の第一次審査委員会を、12月に第二次審査委員会を開催する。
- (2) 令和5年12月に油脂技術優秀論文審査委員会及び令和6年度研究助金授与者の審査を行う。

### II. 事業計画

#### 1. 油脂工業に関する調査研究への助成(継続) 【定款 第4条第1項関係】

- (1) 公益社団法人日本油化学会(以下日本油化学会という)に対して、学術誌「Journal of Oleo Science」の出版事業を助成する。  
また、油化学に関する研究技術奨励のために「Journal of Oleo Science」誌掲載の優秀論文に対する「エディター賞」受賞者及び若手研究者を対象として「ヤングフェロー賞」受賞者に対して研究奨励金を寄附する。

(2) 若手研究者の育成を目的とした研究助成制度として、今年度に決定した令和 5 年度の助成を 4 月に実施する。

令和 6 年度分の助成は令和 5 年 6 月から同年 8 月末迄に申込みを受け付けるものとする。

## 2. 油脂技術及び油脂産業優秀論文の表彰（継続） 【定款 第 4 条第 2 項関係】

(1) 油脂技術優秀論文の表彰は 1958 年より開始し、本年度で第 67 回目を数える。

また、油脂産業論文の表彰は 1969 年より開始し本年度で第 55 回目を迎える。

これらの表彰事業は、油脂業界関係者の深い理解と協力のもと長い歴史を刻んでおり、業界企業の活性化の一助となっていることはもとより、油化学の発展ならびに国民生活の向上に大きく貢献している。

令和 5 年度の油脂産業論文は下記の課題テーマで募集する。

- 『Z 世代が関わってみたいと思わせるような油脂産業』
- 『油脂産業における脱炭素社会への貢献』

上記 2 課題テーマの他に『自由研究論文』を設定する。

(2) 令和 4 年度の入賞者及び研究助成金授与者による、第 24 回「油脂優秀論文賞受賞講演会」は、9 月 8 日に高知工科大学で開催される日本油化学会年會に合わせて開催する。

## 3. 油脂工業に関する普及及び啓発（継続） 【定款 第 4 条第 3 項関係】

日本油化学会との共催事業である「地区講演会」は、京都府相楽郡・関東支部福島市・大阪府大阪市・岐阜県岐阜市の 4 箇所拠点で原則対面開催する。

## 4. 油脂工業に関する情報の収集及び提供（継続） 【定款 第 4 条第 4 項関係】

(1) 1979 年にスタートした講演会は、昨年度の 2 回の開催を加え、第 81 回目を実施した。

各界の著名人を講師に迎え、その時代に相応しいテーマで、業界関係者だけで無く幅広い方々へ情報を提供している。

本年度も、政治経済・技術・文化の分野から現在のニーズに合ったテーマを選定し春・秋に各 1 回実施する。

(2) 油脂業界の中堅社員による「研究会」は、今年で 22 回目となる。

令和 4 年度は、「世界的リスク多発時代における油脂産業」という研究テーマで 4 月末完成を目指して進めており、成果報告会を 5 月の定時理事会後に実施する。研究成果は研究報告書として業界関係会社・団体等へ配布し、油脂工業会館のホームページでも公開している。

この研究会は、メンバーの相互啓発・スキルアップにも大いに役立っている。本年度も、新しいテーマで業界各社よりメンバーを募集し実施する。

## 5. 内外関係機関等との交流及び協力（継続）

【定款 第4条第5項関係】

日本油化学会が行う油化学及び油脂工業に関する国際交流事業を支援する目的で寄附を行う。

## 6. 会館の管理運営（継続）

【定款 第4条第6項関係】

- 当館は1963年に竣工し、今年で61年目を迎えた。歴代の管理者による耐震補強工事に加え、昨年は総合防災診断も実施し、丁寧な維持管理により、今後も継続して活用できる建物の状況にある。
- 附属設備である空調設備・給湯機器・給排水設備等の衛生設備・照明設備の経年劣化に対する処置や省エネルギー対策、安全・防災対策についても中長期計画に基づいて着実に実施しており、今年度も継続する。
- 当会館のイメージアップと環境対応も考慮し、建物前植栽や屋上での緑化活動を進めており、東京都より会館前植栽エリアに看板を設置して頂いた。今年度も活動を継続する。
- 会館の通常利用時間外での、テレビや映画の撮影依頼やエントランスホールを活用した美術品展示会など、会館の広報やイメージアップ、入居者への話題提供となることから、条件付きではあるが今年度も積極的に受け入れたい。
- 新型コロナウイルスによる安全衛生対策については、空調機器や衛生機器の洗浄消毒の実施強化や換気、会議室ではパーティションによる入居者・来館者の感染防止対策を行ってきた。今後は国や自治体の方針に従い、また、各テナント様の動向も確認しつつ、徐々に通常運営に戻してゆく。
- 機器・設備類の軽微な補修等は、出来るだけ会館内で実施する体制を整え、これを維持継続するものとする。
- 令和4年度は、貸室への入退室は1件あったが、現在、満室状態に戻っている。テナント様へのサービス維持・向上はもとより、近年の地球環境対策への対応も考慮しながら、安定した収益体制の維持に努めるものとする。

## Ⅲ. 事務局計画

### 1. 一般財団法人格維持に対する対応

公益目的支出計画に基づき、令和4年度に実施した項目について内閣府へ届け出るものとする。

### 2. 公益活動の振り返り

社会環境の変化に伴い、今後の公益活動の在り方を検討する。

### 3. 会館ビル運営の今後

今後の会館ビル運営について考えて行く。

以上

# 令和5年度 収支予算

## 収 支 予 算 書 (資金ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	項番	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>	1				
<b>1. 事業活動収入</b>	2				
①基本財産運用収入	3				
・基本財産賃貸料収入	4	0	0	0	
・基本財産利息収入	5	0	0	0	
②特定資産運用収入	6				
・特定資産利息収入	7	1,148	928	220	
③事業収入	8				
・賃貸料収入	9	155,711	153,573	2,138	
・共用費収入	10	22,816	23,083	△ 267	
④寄付金収入	11				
・論文奨励賞基金収入	12	0	0	0	
⑤雑収入	13				
・受取利息収入	14	2	2	0	
・雑収入	15	2,360	2,100	260	会議室料、自販機
⑥他会計からの繰入金収入	16				
・寄附金収入	17	21,000	21,000	0	
<b>事業活動収入計</b>	18	203,037	200,686	2,351	
<b>2. 事業活動支出</b>	19				
①事業費支出	20	142,660	144,037	△ 1,377	
②管理費支出	21	500	550	△ 50	
③他会計への繰入金支出	22				
・寄附金支出	23	21,000	21,000	0	
④法人税住民税等	24	15,331	15,000	331	
<b>事業活動支出計</b>	25	179,491	180,587	△ 1,096	
<b>事業活動収支差額</b>	26	23,546	20,099	3,447	
<b>II 投資活動の部</b>	27				
<b>1. 投資活動収入</b>	28				
<b>投資活動収入計</b>	29	0	2,880	△ 2,880	
・退職給付引当資産取崩収入	30	0	2,880	△ 2,880	
<b>2. 投資活動支出</b>	31				
①特定資産取得支出	32				
・建物改修引当資産取得支出	33	10,000	10,000	0	
・退職給付引当資産取得支出	34	588	574	14	
・預り敷金引当資産取得支出	35	10,000	10,000	0	
②固定資産取得支出	36	24,700	21,750	2,950	
<b>投資活動支出計</b>	37	45,288	42,324	2,964	
<b>投資活動収支差額</b>	38	△ 45,288	△ 39,444	△ 5,844	
<b>III 財務活動収支の部</b>	39				
<b>財務活動収支差額</b>	40	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>	41	3,000	3,000	0	
<b>当期収支差額</b>	42	△ 24,742	△ 22,345	△ 2,397	
<b>前期繰越収支差額</b>	43	147,827	170,172	△ 22,345	
<b>次期繰越収支差額</b>	44	123,085	147,827	△ 24,742	

収支予算書（損益ベース）  
（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

令和5年3月28日  
（単位：千円）

科目	項番	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部	1				
1. 経常増減の部	2				
(1) 経常収益	3				
①基本財産運用益	4				
基本財産貸貸料収入	5	0	0	0	
基本財産利息収入	6	0	0	0	
②特定資産運用収入	7				
特定資産利息収入	8	1,148	928	220	
③会館運営事業収入	9				
貸貸料収入	10	155,711	153,573	2,138	
共用費収入	11	22,816	23,083	△ 267	
④雑収益	12				
受取利息	13	2	2	0	
雑収入	14	2,360	2,100	260	
(経常収益計)	15	182,037	179,686	2,351	
(2) 経常費用	16				
①実施事業等（公益）事業費	17	20,788	21,030	△ 242	従事割合（10%配賦）
給与手当	18	1,730	1,972	△ 242	"
福利厚生費	19	247	183	64	"
退職給付費用	20	60	176	△ 116	"
旅費・宿泊費	21	1,250	550	700	
式典費	22	2,000	2,000	0	
表彰金	23	3,300	3,340	△ 40	
審査料	24	1,800	1,800	0	
講演費	25	800	800	0	
印刷製本費	26	930	1,000	△ 70	
通信費	27	200	200	0	
寄附金	28	800	800	0	
助成金	29	4,000	4,500	△ 500	
共催金	30	1,000	1,000	0	
交際費	31	700	850	△ 150	
雑費	32	150	100	50	
会館運営事業費からの費用配賦	33	1,821	1,759	62	使用面積割合（1.5%配賦）
②会館運営事業費	34	136,320	134,758	1,562	
給与手当	35	14,706	16,760	△ 2,054	従事割合（85%配賦）
福利厚生費	36	2,100	1,554	546	"
退職給付費用	37	500	1,499	△ 999	"
ビル管理委託費	38	41,160	41,160	0	使用面積割合(98.0%配賦)
保守保全費	39	5,586	5,390	196	"
修繕費	40	11,074	12,299	△ 1,225	"
光熱水料費	41	14,210	8,330	5,880	"
備品費	42	1,960	2,646	△ 686	"
消耗品費	43	980	1,176	△ 196	"
保険料	44	559	570	△ 11	"
租税公課	45	22,638	22,638	0	"
印刷製本費	46	49	98	△ 49	"
交通費	47	294	490	△ 196	"
交際費	48	1,274	1,176	98	"
会議費	49	98	196	△ 98	"
通信費	50	441	343	98	"
諸会費	51	490	490	0	"
雑費	52	2,450	2,450	0	"
減価償却費	53	15,751	15,493	258	"
③管理費	54	2,124	2,301	△ 177	
給与手当	55	866	986	△ 120	従事割合（5%配賦）
福利厚生費	56	123	91	32	"
退職給付費用	57	28	88	△ 60	"
役員会費	58	500	550	△ 50	
会館運営事業費からの費用配賦	59	607	586	21	使用面積割合（0.5%配賦）
(経常費用計)	60	159,232	158,089	1,143	
投資有価証券評価損益等	61			0	
(当期経常増減額)	62	22,805	21,597	1,208	
2. 経常外増減の部	63				
(1) 経常外収益	64				
経常外収益計	65	0	0	0	
(2) 経常外費用	66	0	0	0	
経常外費用計	67	0	0	0	
(当期経常外増減額)	68	0	0	0	
他会計振替額	69			0	
税引前一般正味財産増減額	70	22,805	21,597	1,208	
法人税・住民税及び事業税	71	15,331	15,000	331	
当期一般正味財産増減額	72	7,474	6,597	877	
一般正味財産期首残高	73	544,020	537,423	6,597	
一般正味財産期末残高	74	551,494	544,020	7,474	
II 指定正味財産増減の部	75			0	
論文奨励賞基金収入	76	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	77			0	
指定正味財産期首残高	78	44,500	43,500	1,000	
指定正味財産期末残高	79	44,500	43,500	1,000	
III 正味財産期末残高	80	595,994	587,520	8,474	

収支予算書内訳表（損益ベース）

令和5年3月28日

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	項番	実施事業等会計					その他会計 会館運営事業	法人会計	内部取引消去	合計
		継1(表彰)	継2(助成)	継3(講演)	共通	小計				
I 一般正味財産の部	1									
1. 経常増減の部	2									
(1) 経常収益	3									
①基本財産運用益	4									
基本財産貸貸料収入	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
基本財産利息収入	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
②特定資産運用収入	7									
特定資産利息収入	8	120	126	0	227	473	675	0	1,148	
③会館運営事業収入	9					0			0	
貸貸料収入	10	0	0	0	0	0	155,711	0	155,711	
共用費収入	11	0	0	0	0	0	22,816	0	22,816	
④雑収益	12					0			0	
受取利息	13	0	0	0	1	1	1	0	2	
雑収入	14	0	0	0	0	0	2,360	0	2,360	
(経常収益計)	15	120	126	0	228	474	181,563	0	182,037	
(2) 経常費用	16									
①実施事業等(公益)事業費	17	9,140	5,005	2,740	3,903	20,788	0	0	20,788	
給与手当	18	0	0	0	1,730	1,730	0	0	1,730	
福利厚生費	19	0	0	0	247	247	0	0	247	
退職給付費用	20	0	0	0	60	60	0	0	60	
旅費・宿泊費	21	1,000	0	250	0	1,250	0	0	1,250	
式典費	22	2,000	0	0	0	2,000	0	0	2,000	
表彰金	23	3,300	0	0	0	3,300	0	0	3,300	
審査料	24	1,600	200	0	0	1,800	0	0	1,800	
講演費	25	0	0	800	0	800	0	0	800	
印刷製本費	26	600	0	330	0	930	0	0	930	
通信費	27	100	0	100	0	200	0	0	200	
寄附金	28	0	800	0	0	800	0	0	800	
助成金	29	0	4,000	0	0	4,000	0	0	4,000	
共催金	30	0	0	1,000	0	1,000	0	0	1,000	
交際費	31	500	0	200	0	700	0	0	700	
雑費	32	40	5	60	45	150	0	0	150	
会館運営事業費からの配賦	33	0	0	0	1,821	1,821	0	0	1,821	
②会館運営事業費	34	0	0	0	0	0	136,320	0	136,320	
給与手当	35	0	0	0	0	0	14,706	0	14,706	
福利厚生費	36	0	0	0	0	0	2,100	0	2,100	
退職給付費用	37	0	0	0	0	0	500	0	500	
ビル管理委託費	38	0	0	0	0	0	41,160	0	41,160	
保守保全費	39	0	0	0	0	0	5,586	0	5,586	
修繕費	40	0	0	0	0	0	11,074	0	11,074	
光熱水料費	41	0	0	0	0	0	14,210	0	14,210	
備品費	42	0	0	0	0	0	1,960	0	1,960	
消耗品費	43	0	0	0	0	0	980	0	980	
保険料	44	0	0	0	0	0	559	0	559	
租税公課	45	0	0	0	0	0	22,638	0	22,638	
印刷製本費	46	0	0	0	0	0	49	0	49	
交通費	47	0	0	0	0	0	294	0	294	
交際費	48	0	0	0	0	0	1,274	0	1,274	
会議費	49	0	0	0	0	0	98	0	98	
通信費	50	0	0	0	0	0	441	0	441	
諸会費	51	0	0	0	0	0	490	0	490	
雑費	52	0	0	0	0	0	2,450	0	2,450	
減価償却費	53	0	0	0	0	0	15,751	0	15,751	
③管理費	54	0	0	0	0	0	0	2,124	0	2,124
給与手当	55	0	0	0	0	0	0	866	0	866
福利厚生費	56	0	0	0	0	0	0	123	0	123
退職給付費用	57	0	0	0	0	0	0	28	0	28
役員会費	58	0	0	0	0	0	0	500	0	500
会館運営事業費からの配賦	59	0	0	0	0	0	0	607	0	607
(経常費用計)	60	9,140	5,005	2,740	3,903	20,788	136,320	2,124	0	159,232
投資有価証券評価損益等	61									0
(当期経常増減額)	62	△ 9,020	△ 4,879	△ 2,740	△ 3,675	△ 20,314	45,243	△ 2,124	0	22,805
2. 経常外増減の部	63									
(1) 経常外収益	64									
(経常外収益計)	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(経常外費用計)	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期経常外増減額)	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	69	0	0	0	21,000	21,000	△ 23,124	2,124	0	0
税引前一般正味財産増減額	70	0	0	0	0	686	22,119	0	0	22,805
法人税・住民税及び事業税	71	0	0	0	0	0	15,331	0	0	15,331
(当期一般正味財産増減額)	72	0	0	0	0	686	6,788	0	0	7,474
一般正味財産期首残高	73	0	0	0	0	0	544,020	0	0	544,020
一般正味財産期末残高	74	0	0	0	0	686	550,808	0	0	551,494
II 指定正味財産増減の部	75									
論文奨励賞基金収入	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期指定正味財産増減額)	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	78					44,500	0	0	0	44,500
指定正味財産期末残高	79					44,500	0	0	0	44,500
III 正味財産期末残高	80	0	0	0	0	45,186	550,808	0	0	595,994